

1. 漢方医薬学履修プログラム

〔薬学科のみ〕

【開講の目的】

北里大学は薬学部附属東洋医学総合研究所（生薬学研究室、漢方臨床研究室）、薬学部附属薬用植物園とあわせ北里研究所病院漢方鍼灸治療センター（以下、漢方鍼灸治療センターと略す・漢方診療科・漢方薬剤科等）などの漢方・生薬関連の施設が我が国で最も充実している環境にあることから、この北里大学の特徴を活用し、薬学部の教員と、漢方鍼灸治療センターの医師、薬剤師等による講義及び実習を組合せた教育プログラムを履修することによって、以下の教育目標を達成する。

現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解し、医療用漢方製剤やOTC漢方エキス製剤、その他の植物療法剤に関する適正な使用やエビデンスに基づいた有効性や安全性の説明ができるように、西洋医学（薬）と漢方医学（薬）の相違、漢方医学の治療方針、診断法、代表的な漢方処方への適用、適応疾患と適応処方、漢方薬の原料生薬や品質管理、漢方薬の調剤や製剤、服薬指導や使用上の注意、漢方薬の作用メカニズム、新薬の開発などに関する知識を修得することを目標とする。

漢方医薬学履修プログラム対応科目の一覧及び履修年次を以下に示す。本プログラムは、漢方調剤薬局実務実習の履修をもって修了とする。なお、各科目の詳細については、シラバスを参照すること。

漢方医薬学履修プログラム対応科目一覧及び履修年次

1年	2年	3年	4年	5年	6年
薬用植物学	生薬学Ⅰ	東洋医学概論	健康食品論 ^{※1}	生薬・東洋医学精説 ^{※1}	
	生薬学Ⅱ	地域医療薬学Ⅰ			
	初級太極拳演習 ^{※1, 4}				
薬用植物園観察実習 ^{※2}	生薬学実習 漢方調剤薬局基礎実習 ^{※3}	漢方調剤薬局基礎実習 ^{※3}		漢方調剤薬局実務演習 ^{※1, 5}	

※1：網掛けは選択科目あるいは自由科目（他は必修科目）

※2：薬用植物学講義内で実施

※3：2年次、生薬学Ⅱ内でオンライン見学。3年次、東洋医学概論期間中に希望者を対象に少人数制（10名/回）で実地見学を実施。

※4：東洋医学における養生法、気功法を学ぶ。定員各10名を予定（希望者が多い場合は抽選を行う）。なお、本演習は、漢方医薬学履修プログラムの修了要件には含まれない。

※5：5日間。春期休暇および夏季休暇中に実施。定員20名（春期、夏期、各10名）を予定。漢方医薬学履修プログラム対応科目（但し、初級太極拳演習を除く）を全て履修・単位取得していること、及び実務実習（病院・保険薬局）を修了していることを履修条件とする。